

1. 科目名 (単位 数)	経済学 (国際経済を含む) (2 単位)	3. 科目番号	GELA2318
2. 授業担当教員	古市 吉輝		
4. 授業形態	講義、学生による発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本科目は、経済が動く仕組みがよく理解できるように、必要とされる経済学 (国際経済を含む) の基礎知識を体系的に得ることを目的のひとつとする。</p> <p>さらに、そうした基礎知識を「生きた知識」として活用させ、世界や日本国内で起こっている各種の経済問題やそこで活躍する企業や政府などについて理解することによって、分析するツールとして利用できるようになることが最終的な目的となる。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経済現象の背後に貫徹する法則を説明できるようになる。</li> <li>2. 財政金融関係の基礎知識について学び、説明できるようになる。</li> <li>3. 国際経済・日本経済の歴史について、自らの意見をレポートにまとめ発表することができるようになる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国の予算を調べる。</li> <li>2. 戦後の日本経済の歴史について整理する。</li> </ol>		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 関谷・安田・大木著『初めて学ぶ経済学』慶応義塾大学出版会、2014。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済現象や財政金融関係の基礎知識、企業経済・労働経済について学び、説明できるようになる。</li> <li>・世界経済や日本経済の歴史や現状について、自らの考えをレポート等にまとめ発表できるようになる。</li> </ul> <p>○評定の方法</p> <p>授業態度および積極的参加度 (授業への取り組み・発言) 等 20%</p> <p>小テスト・発表 30%</p> <p>期末試験・レポート 50%</p>		
12. 受講生への メッセージ	<p>本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は、下記のことを守ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①授業には欠席、遅刻、早退はしないこと (欠席、遅刻、早退の場合は、その理由を書面にて提出のこと)。</li> <li>②授業中理解できなかったことは、そのまま放っておかず質問すること。</li> <li>③授業中は私語、居眠りをしないこと。また、携帯電話のスイッチは切っておくこと。</li> <li>④授業中は緊張感と集中力を保ち、積極的な態度で授業に参加すること。</li> <li>⑤課題の提出期限を厳守すること。</li> <li>⑥自分の人生へどのように影響するかという観点から社会の大きな動きを見る習慣をつけていくこと。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	第1回の授業時に伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	第1章 市場とは何か	事前学習	pp.4~8の家計と企業を読みまとめること。
		事後学習	機会費用についてレポートにまとめること。
第2回	第2章 需要を考える	事前学習	pp.11~19を読み需要曲線についてまとめること。
		事後学習	需要の価格弾力性の要因についてまとめること。
第3回	第3章 供給を考える	事前学習	pp.23~29を読み供給曲線についてまとめること。
		事後学習	供給の価格弾力性についてレポートにまとめること。
第4回	第4章 市場における価格の役割	事前学習	p.31の市場価格の決定についてまとめること。
		事後学習	資源配分の効率性をまとめること。
第5回	第5章 市場の現実	事前学習	pp.43~51の市場の現実と価格支配力についてまとめること。
		事後学習	政府による価格規制についてまとめること。
第6回	第6章 市場の失敗	事前学習	p.56の市場を読みまとめること。
		事後学習	外部効果についてレポートにまとめること。
第7回	第7章 情報の経済学	事前学習	p.65の情報の非対称性を読みまとめること。
		事後学習	モラルハザードについてまとめること。
第8回	第8章 経済循環とマクロ経済	事前学習	p.77の経済活動を経済循環図でまとめること。
		事後学習	生産物市場と労働市場の関連についてレポートにまとめること。

第9回	第9章 経済活動の大きさを図る	事前学習	pp.83～89 の国内総生産、3面等価の原則を読みまとめること。
		事後学習	3面等価の原則についてまとめること。
第10回	第10章 国内総生産はなぜ変動するか	事前学習	p.91 の総需要がGDPの水準について読みまとめること。
		事後学習	経済を動かす4つのエンジンについてまとめること。
第11回	第11章 経済活動の安定性を左右する要因	事前学習	p.97 の消費需要の安定を読みまとめること。
		事後学習	輸出・輸入と総需要についてレポートにまとめること。
第12回	第12章 経済活動と金融	事前学習	pp.105～109 の経済循環と貨幣を読みまとめること。
		事後学習	日本銀行の役割についてレポートにまとめること。
第13回	第13章 経済政策の効果	事前学習	pp.111～114 の財政政策を読みまとめること。
		事後学習	金融政策についてまとめること。
第14回	第14章 グローバル経済	事前学習	p.117 の貿易・金利・為替を読みまとめること。
		事後学習	輸出構造と日本経済についてまとめること。
第15回	第15章 現代経済の課題	事前学習	経済格差の問題についてまとめること。
		事後学習	日本の人口問題についてまとめること。
期末試験			